

大阪教育大学名誉教授（図書館情報学）

前日本図書館協会理事長

塩見 昇

いま国の施策として「働き方改革」が喧伝されます。

しかし本当に必要な改革は、国民の暮らしや子どもたちの学びや成長をしっかり支えるはたらきの担い手が、安心して持続的に働ける状況を保障することです。

学校の図書館に専門的な知識・技能を備えた司書を、すべての学校に配備することで、学校図書館の整備・充実を図り、全国の学校図書館の発展の先駆けとなってきた岡山市の学校司書のこれからのありようをどのようなものとしていくかは、学校教育行政の当面する重要な課題です。

国の欺瞞的な「改革」にひきずられることなく、学校司書を法制化した法の理念を先導する学校司書の制度設計を岡山市が進めてくださることを期待します。